

### ■イタリア：2011年上期に400万kW以上の太陽光発電設備が系統に接続

2011年7月11日付の報道によると、国有電力会社 Enel の配電子会社 Enel ディストリブツィオーネ社は、2011年6月末現在全国で約800万kWに上るとみられる運転中太陽光発電設備のうち、400万kW以上が今年上半期に新たに系統に接続された設備であると発表した。2011年1月1日以降イタリアの太陽光電力の買取り価格は大幅に引き下げられたが、2010年末時点までに建設工事が完了し、かつその旨を当局に報告している設備に関しては、2011年6月末までの運転開始を条件に、2010年に適用されていた引き下げ前の高い買取り価格の適用が認められることになっており、2011年前半に運開した設備のほとんどがそうした設備で占められているとされる。その結果、同社の系統に接続されている太陽光設備は現在501万1,000kWに達している。残りは同社以外の配電会社や送電会社 Terna への接続設備である。Enel ディストリブツィオーネ社にはこの他3,396万kWの太陽光発電設備、再エネ全体では5,673万kWの設備の接続申請が提出されているという。なお太陽光電力の公的買取り機関である GSE のデータによると、買取り価格適用申請書類の受理後の処理に時間を要することなどから Enel の数値と多少の違いはあるものの、買取り価格が適用されている太陽光発電設備は2010年末時点の347万kWから7月12日時点の745万kWへと、半年間で約400万kW弱増加している。